

平成 25 年度
「大学生の力を活用した集落復興支援事業」
活動報告書

公立大学法人 会津大学
「ふくしま」の魅力を発見、世界に発信し隊
平成 26 年 3 月 20 日

目次

I. はじめに

II. 調査概要

III. 集落活性化案

IV. おわりに

V. 謝辞

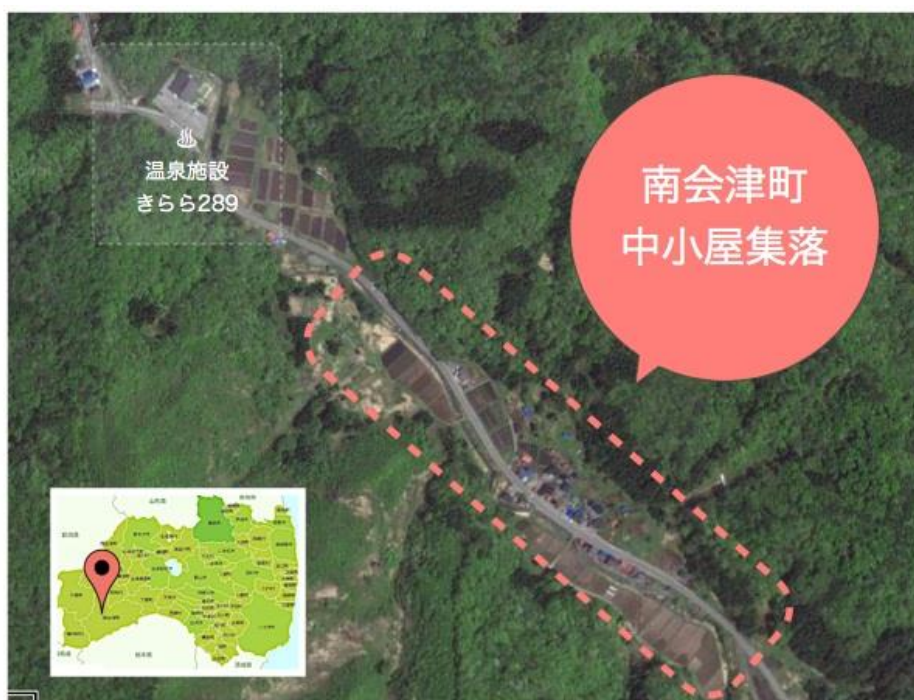
I. はじめに

私たち、会津大学「ふくしま」の魅力を発見、世界に発信し隊は、日本人学生16名、留学生8名の24名がチームとなり国際交流及び地域活性化の活動をしています。平成24年度から福島県南会津郡南会津町に位置する中小屋集落を往訪し、集落住民の方々と毎月1～2回の交流活動を通して集落の魅力や後世に残すべき日本のよさをお互いに共有し、様々なイベントやインターネットを通して情報発信してきました。

中小屋集落の魅力の一つとして、春になると「福寿草」という花がとても綺麗に咲きます。集落住民の方々は福寿草を大変誇りに思っており「福寿草は中小屋の宝だ」と熱く語ってくださいます。今後も、福寿草を始めとして、集落の魅力を世界に発信していきたいと思います。

・中小屋集落

・場所



・人口（平成25年度現在）

| 世帯数 | 15歳未満 | 15～64歳 | 65歳以上 | 人口計 |
|-----|-------|--------|-------|------------------|
| 12 | 0 | 12 | 24 | 男11 女15 合計26名 |

一人暮らし世帯4世帯、高齢者世帯6世帯

高齢化率 54%（10年後 高齢化率72.41%）

II. 調査概要

1. 参加者の構成

- ・グループ名 「ふくしま」の魅力を発見、世界に発信し隊
- ・グループ代表者 3年 大野 綾花
- ・グループ構成 会津大学 コンピュータ理工学部・大学院コンピュータ理工学研究科
日本人学生16名、留学生8名
- ・指導教員 国際戦略本部 川口 立喜 准教授

2. 活動スケジュール

| 日時 | 活動内容 |
|--|-------------------------------------|
| 平成25年 4月 14日(日) | 第1回 現地調査 中小屋集落 集落散策・福寿草観覧 |
| 平成25年 5月 19日(日) | 第2回 現地調査 中小屋集落 遊歩道整備・伝統料理調査 |
| 平成25年 6月 16日(日) | 第3回 現地調査 中小屋集落 学園祭出店のためのリハーサル |
| 平成25年 8月 10日(土) | 第4回 現地調査 中小屋集落 伝統文化のヒアリング |
| 平成25年 9月 7日(土) | 第5回 現地調査 南郷豊年祭りへの参加 |
| 平成25年 10月 12日(土)、 平成25年 10月 13日(日)、 | 会津大学学園祭にて模擬店出店 (もちつき大会、野菜の直売を実施) |
| 平成25年 11月 16日(土) 平成25年 11月 17日(日)、 | 第6回 現地調査(宿泊) 中小屋集落 月田様の講演会、桜の植樹 |
| 平成25年 12月 8日(土) | 第7回 現地調査 福寿草祭りに関するミーティング |
| 平成26年 1月 11日(土) | 第8回 訪問調査 昭和村下中津川地区 福寿草祭りに関する事前調査 |
| 平成26年 1月 12日(日) | 第9回 現地調査 伝統行事「歳の神」体験 |
| 平成26年 1月 31日(金) | 福島県知事へ活動報告 |
| 平成26年 2月 1日(土) | 地域づくりオープンカフェ参加 |
| 平成26年 2月 23日(日) | 第10回 現地調査 福寿草祭りに関するミーティング及び卒業生の送別会 |
| 平成26年 3月 16日(日) | 第11回 訪問調査 昭和村下中津川地区 福寿草祭り参加 |
| 平成26年 3月 29日(土) | 第12回 訪問調査 中小屋地区福寿草祭り準備(予定) |

3. 活動詳細

3.1 第1回 現地調査 集落散策・福寿草観覧

- ・日 時 平成25年4月14日（日）13時から16時まで
- ・場 所 中小屋集落及び中小屋集落公民館
- ・出席者 中小屋地区 大桃区長ほか20名
会津大学 学生8名、川口先生
南会津町南郷総合支援センター 馬場主任、斎藤集落支援員
- ・内 容
 - ・福寿草の群生地を全て視察・写真で記録
 - ・遊歩道設置場所の検討



3.2 第2回現地調査 中小屋集落 遊歩道整備・伝統料理調査

- ・日 時 平成 25 年 5 月 19 日（日）13時から17時まで
- ・場 所 中小屋集落及び中小屋集落公民館
- ・出席者 中小屋地区 大桃区長ほか18名
会津大学 学生9名、川口先生
南会津町南郷総合支援センター 馬場主任、斎藤集落支援員
- ・内 容
 - ・福寿草祭りで使用する遊歩道の整備（小川に橋を架ける手伝い）
 - ・新入生と集落の方々の親睦を深めるための交流会
- ・感じたこと、発見したこと
 - ・遊歩道の整備を始めることにより、福寿草祭り開催の現実味が出てきた。
 - ・集落の方々との交流会では南郷でよく食べられるマトン肉の食の起源や山菜を使用した伝統料理について教えて頂いた。
 - ・集落の方々が新入生を心より受入れて頂き、活動メンバーが増える喜びを実感した。



3.3 第3回現地調査 中小屋集落 学園祭出店のためのリハーサル

- ・日 時 平成 25 年 6 月 16 日（日）13時から18時まで
- ・場 所 中小屋集落及び中小屋集落公民館
- ・出席者 中小屋地区 大桃区長ほか11名
会津大学 学生9名、川口先生
南会津町南郷総合支援センター 馬場主任、斎藤集落支援員
- ・内 容
 - ・福寿草祭りに向けた、遊歩道の整備の続き
 - ・学園祭で餅つきをデモンストレーション・販売するための材料の確認
 - ・当日必要な器具、機材の確認
 - ・餅つきの所要時間などの日程調整
 - ・販売用の味付けされた餅の試食
- ・感じたこと、発見したこと
 - ・実際にリハーサルを行うことで、学園祭当日の作業のイメージがついた。
 - ・餅の切り離しのコツやつゆもちの作り方など熟練の技を教えて頂いた。
 - ・集落の方々と学生と一緒に料理をすることで、女性の住民の方々とたくさんコミュニケーションとる機会となり、結束力の強さと仲の良さを実感した。



3.4 第4回現地調査 中小屋集落 伝統文化のヒアリング

- ・日 時 平成 25 年 8 月 10 日（土）13 時から 15 時まで
- ・場 所 中小屋集落 公民館
- ・出席者 中小屋集落 大桃区長ほか 13 名
会津大学 学生 3 名、川口先生
南会津町南郷総合支援センター 馬場主任、斎藤集落支援員
- ・内 容
 - ・伝統的に使われてきた農業用の道具についての聞き込み
 - ・お盆の時期に行う伝統的な習慣など生活様式
 - ・中小屋集落の昔と今で変化した環境及び言語など
- ・感じたこと、発見したこと
 - ・今では使われていない農具を見たり触ったりすることにより、昔の農業生活の様子をイメージできると共に、雪国での生活の大変さが実感できた。
 - ・中小屋集落の方々が「中小屋集落」に対する思いは強く、若い力で少しでも力になりたいと思った。



3.5 第5回 現地調査 南郷豊年祭りへの参加

- ・日 時 平成 25 年 9 月 7 日 (土)
- ・場 所 福島県立南会津高等学校
- ・出席者 中小屋集落 大桃区長ほか 3 名
会津大学 学生 8 名、川口先生
南会津町南郷総合支援センター 馬場主任、斎藤集落支援員
- ・内 容
 - ・南郷豊年祭りに参加し、南郷の文化調査
 - ・南会津高校の 3 年に一度の文化祭にも参加することができた
- ・感じたこと、発見したこと
 - ・地元の有志による出展者が来場者と和気藹々と交流をしており、地元住民の絆を感じた。
 - ・各国の留学生から借りた伝統衣装を持ち寄り、会場において衣装及び文化を紹介したところ、興味津々に声をかけて下さる年配の方々が多く、地元の方との距離が縮まった。



3.6 会津大学学園祭にて模擬店出店(もちつき大会、野菜の直売を実施)

・日 時 平成 25 年 10 月 12 日 (土) ~ 平成 24 年 10 月 13 日 (日)

・場 所 会津大学

・出席者 12 日 (土)

中小屋集落 大桃区長ほか 5 名

会津大学 学生 8 名、川口先生

南会津町南郷総合支援センター 馬場主任、斎藤集落支援員

13 日 (日)

中小屋集落 大桃区長ほか 8 名

会津大学 学生 9 名、川口先生

南会津町南郷総合支援センター 馬場主任、斎藤集落支援員

・内 容

- ・会津大学の学園祭にて模擬店を共同出店
- ・1 日目は主に野菜などの直売
- ・2 日目は餅つきのデモンストレーションを含むもちの販売、野菜などの直売

・感じたこと、気がついたこと

- ・1 つのイベントを共同で成功させることができたことで、より集落の方々と学生の結束力を高めることができた。
- ・福寿草祭りに向けての意気込み、自信に繋がった。
- ・餅つきをデモンストレーションした際に、子供たちが興味深く参加してくれ、また、年配の方々も大変懐かしいと喜んでもらえた。



3.7 第6回 現地調査(宿泊)中小屋集落 月田様の講演会、桜の植樹

- ・日 時 平成 25 年 11 月 16 日 (土) ~ 平成 25 年 11 月 17 日 (日)
- ・場 所 月田農園、中小屋集落 公民館
- ・出席者 中小屋集落 大桃区長ほか 10 名
会津大学 学生 14 名、川口先生
南会津町南郷総合支援センター 馬場主任、斎藤集落支援員
- ・内 容
 - ・ひめさゆりの栽培に成功した月田農園を訪問及び散策をし、ひめさゆり畑や月田氏が作成した作品などを視察した。
 - ・また、月田氏による、ヒメサユリの栽培にかかる苦労話などを講演して頂いた。
 - ・交流会では、熊肉を煮込んだクマ汁やかぼちやのコロッケなど様々な伝統及び家庭料理を頂きながら、これまでの活動を振り返り、また、今後の取組、ビジョンについて意見交換を行った。
 - ・桜の記念植樹では、昨年度に引き続き 10 本の桜を植樹した。
 - ・植樹に参加した学生の名札をつけることにより、数年後、数十年後に学生が中小屋集落に戻ってくるように願いがこめられている。
- ・感じたこと、発見したこと
 - ・月田農園では秋の大自然を満喫し、大自然の良さを改めて実感した。
 - ・月田氏の講演では、何事も諦めず、長くやり続けることの大切さを学んだ。
 - ・交流会では、昨年度よりも留学生の参加人数が多く、集落の方々は留学生に興味を持ち、各国の文化などを話題にコミュニケーションをとっていた。
 - ・植樹した桜が私たちの活動及びまた自分自身の成長を位置づけることから、卒業しても 5 年度、10 年後に桜を見に、中小屋を訪れたいと思った。





3.8 第7回 現地調査 福寿草祭りに関するミーティング

- ・日時 平成25年12月8日(土)
- ・場所 中小屋集落 公民館
- ・出席者 中小屋集落 大桃区長ほか10名
会津大学 学生6名、川口先生
南会津町南郷総合支援センター 馬場主任、斎藤集落支援員
- ・内容
 - ・福寿草祭り開催にあたって、どんな祭りにするのかイメージの共有
 - ・4~5人のグループで日程や準備が必要なものについて意見交換
 - ・福寿草祭りを開催している昭和村中津川地区に訪問調査をすることにより、さらにイメージを高める。
- ・感じたこと、発見したこと
 - ・集落側も大学生側も福寿草祭りを開催したい気持ちは強いが、何から初めてよいのか何も分からなかったが、様々な事例を用いて可能性を見つけ出した。
 - ・少人数のグループで話し合ったことで、集落の方々及び学生全員の多様な意見を集約することができ、各住民の方の意見を尊重しつつ、皆で協力して取り組んでいきたいとの気持ちが高まった。



3.9 第8回 訪問調査 昭和村中津川地区 福寿草祭りについての事前調査

- ・日時 平成26年1月11日(土)
- ・場所 昭和村下中津川地区 福寿草の会 会長 栗城氏 自宅
- ・出席者 中小屋集落 大桃区長ほか1名
会津大学 学生2名、川口先生
南会津町南郷総合支援センター 馬場主任、斎藤集落支援員
- ・内容
 - ・福寿草祭り開催に向けて、事前準備の内容、予算、来場者数等の聞き込み調査
 - ・福寿草祭りにかかる周知方法、ビラ・ポスターの枚数と配布範囲
 - ・伝統的な餅菓子の試食
- ・感じたこと、発見したこと
 - ・福寿草祭りの準備にかかる苦労話など、祭りを開催するにあたっての教訓が共有されたことにより、実際に中小屋集落の福寿草祭りの開催までのスケジュールなど具体的にイメージを掴むことができ、大変有意義な訪問であった。
 - ・中小屋集落の大桃区長も準備及び開催において、どのようなことから始めればよいか、明確な道筋がつかめたようだった。
 - ・今回、訪問した昭和村 下中津川地区下坪は規模や雰囲気は中小屋集落と似ていることもあり、今後、協力してお互いの福寿草祭りを盛り上げていくことで合意した。
 - ・最後に、昭和村のからむし伝統について教えていただき、異なったアプローチにおける、福島伝統文化に触れることができた。



3.10 第9回 現地調査 伝統行事「歳之神」体験

- ・日 時 平成26年1月12日（日）10時から18時まで
- ・場 所 中小屋集会所 等
- ・出席者 中小屋集落 大桃区長など15名程度
会津大学 学生10名、川口先生
南会津町南郷総合支援センター 馬場主任、斎藤集落支援員
- ・内 容
 - ・橋の雪片付けを集落の方と共同作業
 - ・橋の崩落を防ぐために柵を設置
 - ・福寿草祭りに関するミーティングにて、先週、昭和村訪問した際に得た情報共有
 - ・福寿草祭りでのイベントを実施し、来客者に提供するかの意見交換
 - ・福寿草祭りに関する提案や討論するグループもあった
 - ・中小屋集落の方々と昼食を兼ねた交流会にて、初めて歳之神に参加する学生は、歳之神に関する由来や言い伝えなどの聞き込み調査
 - ・伝統行事である、歳之神（おんべ）に参加
 - ・中小屋集落では歳之神のことを「おんべ（御幣）」と言う。
 - ・今年の無病息災、五穀豊穡を祈る
 - ・餅やみかんを焼くなどして食べた
- ・感じたこと、発見したこと
 - ・福寿草祭りの開催が実現できるところまで準備が進み、集落の方々の情熱と後世に残していく希望を強く感じた。
 - ・大学生事業が始まった当初よりも、ミーティングで女性が発言することが多くなり、建設的なミーティングになってきていると実感した。



3.11 福島県知事へ活動報告

- ・日 時 平成 26 年 1 月 31 日（金）14 時から 16 時まで
- ・場 所 福島県庁
- ・出席者 中小屋集落 大桃区長
会津大学 学生 1 名、川口先生
- ・内 容
 - ・福島県の佐藤知事へ今までの活動について報告



3.12 県民討論会参加

- ・日 時 平成 26 年 2 月 1 日（土）13 時から 16 時まで
- ・場 所
- ・出席者 中小屋集落 大桃区長ほか 5 名
会津大学 学生 4 名、川口先生
南会津町南郷総合支援センター 馬場主任、斎藤集落支援員
- ・内 容
 - ・「大学生による集落復興支援事業」に参加する他のグループ活動報告を共有した。
 - ・テレビ局の取材を受け、たくさんの人々に大学生事業の活動内容を知ってもらいよい機会となった
- ・感じたこと、発見したこと
 - ・改めて区長さんに集落の方々に交流したのが会津大学で良かったと言われ、また、発表も素敵だったと賞賛して頂き、大学生事業を通して学んだことを今後も活かしていきたいと思った。



3.13 第10回 現地調査 福寿草祭りに関するミーティング及び卒業生の送別会

- ・日時 平成26年2月23日（土）13時から18時
- ・場所 中小屋集落 公民館
- ・出席者 中小屋集落 大桃区長など10名以上
会津大学 学生12名、川口先生
南会津町南郷総合支援センター 馬場主任、斎藤集落支援員
- ・内容
 - ・ミーティングでは、ポスターのデザインの最終決定とイベントの確定
 - ・福寿草祭りに関する進捗状況の確認と今後のスケジュールの決定
 - ・本活動に関わった今年度卒業する学生の送別会を兼ねた交流会
- ・感じたこと、発見したこと
 - ・大学生事業を始めた当初は福寿草祭りの開催は難しいと感じたが、2年後に実際に開催することが可能となり、心から嬉しく思う。
 - ・卒業生の送別会では、卒業生からは「社会人になってもまた訪れたい」と、集落側からは「いつでも（卒業生の訪問を）待っている」という言葉が交わされ、お互いの信頼関係の大切さについて感じた。



3.14 第11回 訪問調査 昭和村下中津川地区 福寿草祭り

- ・日 時 平成26年3月16日（日）11時から13時まで
- ・場 所 昭和村下中津川地区下坪 福寿草祭り 会場
- ・出席者 中小屋集落 大桃区長ほか4名
会津大学 学生1名、川口先生
南会津町南郷総合支援センター 馬場主任、斎藤集落支援員
- ・内 容
 - ・福寿草祭りを実際に視察することで、福寿草祭りの当日の流れを把握
 - ・ポスターやビラを配布することによる中小屋福寿草祭りの周知
 - ・次年度のイベントや模擬店などの可能性について模索
- ・感じたこと、発見したこと
 - ・想像以上に地元からの模擬店があった。
 - ・来場者は昭和村内の住民がほとんどだった。
 - ・中小屋集落は国道に面していて、車通りが多いためもっと多くの来場者を見込めるのではないかと思った。



III. 集落活性化案

中小屋集落には、昔ながらの囲炉裏のあるお宅や、豊かな自然、美味しい郷土料理など魅力的なものがたくさんあります。その中でも一番の魅力は集落の住民の方々がとても大切にされている福寿草です。中小屋集落には広範囲におよぶ福寿草の群生地があるので、この資源を活用して「福寿草まつり」の開催するため企画立案及び準備を続けてきました。

この福寿草まつりを開催することで、中小屋集落の福寿草や魅力など多くの方に知ってもらい、中小屋集落との交流が生まれることで、南会津町や福島県の活性化につなげていくことができると考えています。今年度は、福寿草祭り開催の実現及び中小屋集落の魅力の情報発信を中心に活動をし、次の通り Web ページの作成に取り組んでまいりました。

1. 中小屋集落の Web ページの作成

この活動が始まってすぐ、インターネットで「中小屋集落」を検索したところ、集落についての情報が全くと言っていいほど情報が出て来ませんでした。まずは、この「中小屋集落」の現状及び魅力について様々な方に知ってもらうために、私たち、会津大学生のコンピュータ理工学の強みを生かし、中小屋集落の Web ページの作成から取り掛かりました。

2. Web ページを作成することによるメリット

- ・ 中小屋集落の現状及び魅力を様々な方に知っていただける。
- ・ 中小屋に残された伝統文化（生活様式、食文化、方言等）を次世代に継承する。
- ・ 今後、中小屋で開催されるイベント等の広報活動・情報発信源となる。

3. Web ページに載せる内容

- ・ 中小屋の魅力（福寿草）、中小屋の伝統文化
- ・ 中小屋へのアクセス、中小屋での集落の方々と学生との交流活動記録等

4. Web ページの利用・管理方法

- ・ 今後も Web ページの更新を継続し、会津大学の学生が管理する。
- ・ インターネットに新規で掲載する際は、プライバシーの問題も考え、集落の方に内容を確認してもらう。
- ・ このページの原稿を元に、中小屋のガイドブックなども作成・印刷し、紙媒体でも配布する。（インターネットを利用できない方もいるため）

5. Web ページのスクリーンショット（次ページ参照）

中小屋地区ウェブサイト:

<http://web-ext.u-aizu.ac.jp/sccp/sccpkawa/TeamNakagoya1/Welcome.html>

[ホーム](#) | [中小屋の魅力](#) | [福寿草](#) | [伝統と歴史](#) | [食文化](#) | [体験](#) | [活動記録](#) | [アクセス](#) | [お問い合わせ](#)



ようこそ、**中小屋集落**へ。

福島県南会津郡に位置する魅力的な集落、**中小屋**。

四季折々に成すその美しい景色は、観光客の目をうばいます。

しかし、過疎化に伴う様々な問題を抱えるの今、
大学生の力で何かできないだろうか。

会津大学の日本人学生と**留学生**がチームを組み、
中小屋集落の魅力を発見、世界へ情報発信します。



© 2013 会津大学「ふくしま」の魅力を発見、世界に発信し隊

福寿草

福寿草とは？

フクジュソウ
(福寿草、学名: Adonis ramosa)

キンポウゲ科の多年草。別名、ガンジツソウ(元日草)。1月1日の誕生花。

春を告げる花の代表である。そのため元日草(かんじつそう)や朔日草(ついたちそう)の別名を持つ。福寿草という和名もまた新春を祝う意味がある。江戸時代より多数の園芸品種も作られている古典園芸植物でもある。

“花言葉は永久の幸福、思い出、幸福を招く、祝福。”



▣ スライドショーを再生

📌 登録



6. 福寿草祭りの開催

全体交流活動が始まる前に、現状や課題について聞き込みを行った際に、福寿草祭りを開催したいとの中小屋集落の方々から強い要望がありました。しかし、集落内の福寿草群生地が民家の裏山にあるためプライバシーの問題や、福寿草の群生地が広範囲に及ぶため遊歩道の計画・設置など様々な課題解決が必要不可欠でした。

これまでの集落の方々と学生との交流を通して、中小屋集落の方々の福寿草祭りに対する熱意を感じ、福寿草を通して中小屋を多くの方々知ってもらう過程及び交流が自然と地域活性化につながってきました。平成26年4月の開催に向けて2年間試行錯誤を乗り越えながら下準備を進めています。

7. 福寿草祭りを開催するメリット

- ・ 中小屋集落の福寿草やこの活動を通して発見した魅力を知ってもらうことができる。
- ・ 福寿草祭りの開催をすることで近隣集落との交流の場が繋がる。
- ・ 福寿草祭り開催のためのミーティングを重ねることで、中小屋集落内にまとまりができ、集落で集まる楽しみが増える。

8. 福寿草祭りの内容

- ・ 福寿草を遊歩道の散策コースを歩いて観覧
- ・ よさこいや餅まきなどの複数のステージイベント
- ・ 無料の甘酒配布
- ・ 五目ふかし、豚汁などの模擬店の出店

9. 福寿草祭りのポスター・チラシ

<チラシ>

福島県南会津町中小屋
福が満開、福のしほ。
中小屋集落では昔から福寿草のことを「こがね」と呼んで親しまれてきました。
第一回 福寿草まつり
2014年 4月13日(日) 10:00~14:00
甘酒 無料サービス
※無くなり次第終了とさせていただきます。
中小屋集落 福寿草群落
催し物 よさこい/餅まき/チェーンソーアート
豚汁/五目ふかし など
主催 中小屋地区福寿草保存会 <後援> 南会津町観光物産協会 <協力> 金沢大学「ふくしまを発見、世界に発信し発信」
お問い合わせ先 南会津総合支所関係課 企画観光係 Tel.0241-72-2900

アクセス
中小屋集落 散策マップ
福寿草めぐり
昭和村下坪 福寿草まつり
2014年3月16日(日) 10:00~
高湯水自然公園 ひめぎゆり群生地
6月下旬見頃

<ポスター>

福が満開、福のしま。

第一回

みなみあいづまち なかこや

福島県南会津町中小屋

中小屋集落では昔から福寿草のことを「こがね」と呼んで親しんできました。

福寿草まつり

2014年 4月13日(日) 10:00~14:00

中小屋集落 福寿草群落

催し物 よさこい／餅まき／チェーンソーアート／豚汁／五目ふかし など

福寿草観光物産館ホームページ
福島の魅力を発信します
<http://www.fukushima-tdj.com>







アクセス



福寿草めぐり

昭和村下坪 福寿草まつり

2014年 3月16日(日) 10:00~

催し物 歌謡ショー／スポーツ民謡／大黒様の福豆まき
もちつき／横瀬店 など

<主催・お問合せ先> 下坪福寿草の会 Tel.0241-57-2344

喜多町 山部町 冠ノ平

第17回 福寿草まつり

2014年 3月23日(日)~4月中旬

催し物 語り部民謡会 (29.30日)
地元産品／沼ノ平そば／もち・ヤマメ塩焼き
※土・日・祝のみ

<お問合せ先> 沼ノ平むらおこし実行委員会 Tel.0241-38-3655

<主催> 中小屋地区福寿草保存会 <後援> 南会津町観光物産協会 <協力> 会津大学「ふくしまを発見、世界に発信し隊」
<お問合せ先> 南郷総合支所振興課 企画観光係 Tel. 0241-72-2900

福島県地域づくり総合支援事業 (サポート事業)

おわりに

会津大学はコンピュータ理工学の単科大学ということで、地域振興及び行政政策が専門でないため、初めて集落を訪れてから手探りの状態が続きました。集落の方々と何度も話し合いを持つことで信頼関係が芽生え、学生として私たちに何ができるかを常に考え交流活動を継続してきました。

交流活動の多くは、今はなかなか経験できない昔ながらの生活体験をはじめ、留学生や県内外からの出身者の異なった文化などを共有するなど、互いにとって身近な部分を少しずつ理解する中でたくさんの気づきを発見することができました。そのような交流をとおして、中小屋集落の方々がどのような形で集落を活性化させ、福寿草がいかに大切な宝なのかということの原点を見つけ出すことができました。この2年間で「福寿草祭り」の開催まで準備を推進できたことを心より嬉しく思っています。また、交流活動を重ねるごとに集落の方々の笑顔とやる気が増加しているところを感じ取ることができ、集落の方々から「大学生が集落に入ることにより集落が活気づいた」「大学生が来るのを楽しみにしている」などの声を聞くと、私たち会津大学のチームとして中小屋集落と交流出来て本当に良かったと実感しました。

今年度でこの県の事業サポートは満期となりますが、引き続き中小屋集落との交流は継続していく予定です。さらに活動を積み重ねることにより、もっと中小屋の方々との信頼関係を築き、もっと中小屋の魅力を発見し、世界へ発信していきたいと考えています。

IV. 謝辞

本活動をするにあたり、ご協力をしていただいた中小屋地区の大桃区長をはじめ、中小屋集落の方々、南会津町南郷総合支援センター主任 馬場様、同じく南会津町南郷総合支援センター集落支援員 斎藤様、福島県企画調整部地域振興課の職員の方々へ深く感謝いたします。

最後に、この交流活動を様々な面で支えてくれた数多くの先輩、中小屋チームの皆に心より感謝致します。

平成25年度 学生代表

学部3年 大野 綾花